

# 看板の作り方

## 1 準備

用意するもの

材料

①ベニヤ / 合板 or 集成材 30cm×20cm (厚み 3mm~9mm)

○手軽につくりたい⇒ベニヤや合板

○強度耐久性をしっかりとりたい⇒集成材

②ビス or 釘 8本ずつ

長さ 4.5cm が 4本・6.5cm が 4本 / 釘の場合も同じ

\* コーススレッド引き寄せビスがおすすめ◎

③角材 4.5cm×4.5cm 角のもの

長さ 60cm×2本  
30cm×1本

④木材保護塗料

⑤文字を描く画材 (屋外用ペンキ・アクリル絵具)

⑥油性ニス

⑦木工ボンド

⑧紙やすり (240番2枚程度) ⇨ あったらいいかも◎

道具

①ノコギリや糸ノコギリ

②インパクトドライバー or 金属ハンマー

\*ビスでつくる場合はインパクトドライバー

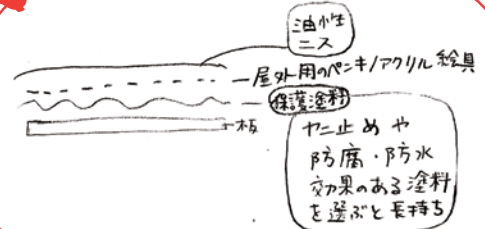
釘でつくる場合は金属ハンマー

③ハケ (塗料用)

④バケツ (プラスチック使い捨てのもの等)

⑤屋外用ペンキ・絵筆 (文字用)

⑥木槌 (看板をうちつける用)

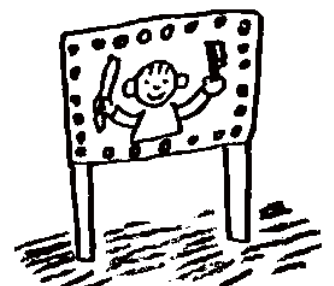


☆上記の材料や道具は、ホームセンターで全部そろいます◎

☆ベニヤ板・集成材・角材は、ホームセンターのカットサービスを利用して必要な長さに切ってもらいましょう。

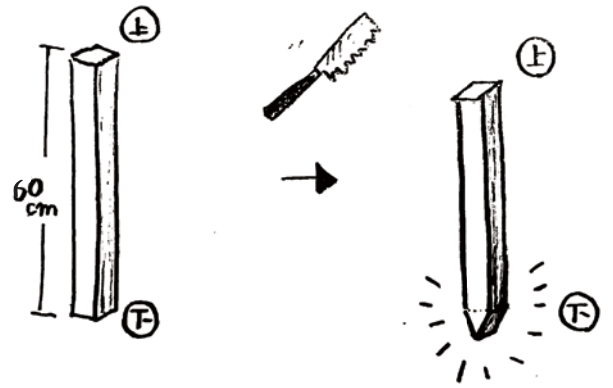
☆ビスや釘も長さに迷ったら、店員さんに使用する板材の厚みなどを見せて聞くと、適切なものを教えてもらえます。

☆セルフ DIY コーナーのあるホームセンターでは、その場で組み立てることも出来たりします。



## 2 作業 - ①

60cm 角材の下側の部分をノコギリで切り、とがらせます

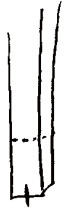


①



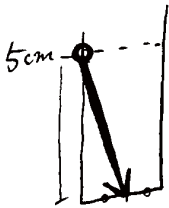
下から 5cm ほどのところにしるしをつけます

②



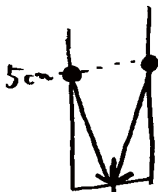
角材の一面の真ん中あたりにもしるしをつけます

③



5cm のしるしの角から真ん中につけたしるしにむかってえんぴつで線をひきます

④



もう一方の角からも同じように線をひきます

⑤



線のところを上から垂直にノコギリ（糸ノコ）で切ります  
斜線のところが切り落とされるようなイメージです

⑥



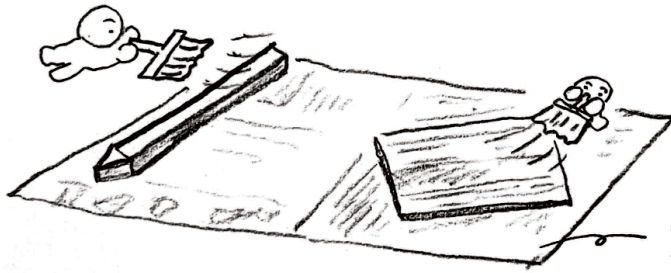
切れたら、左の図のようにとがった部分ができます（4面とがらせたい場合は、横の面を同じように①－⑤の手順で繰り返し切ります）

## 2 作業 - ②

### ①木材の塗装・文字描き

切った角材や文字を書く前の板に木材保護塗料をぬります。

ホームセンターに  
売っているプラスチックバケツに  
塗料を出します。



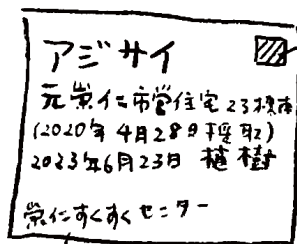
ダンボールや  
新聞紙を  
ひきましょう。

一面ずつ塗り、塗料缶にかいてある乾燥時間を参考にして、  
乾いたらうらがえし、どんどんぬっていきましょう！

### ②塗料が乾いたら・・・

板に、好きな色で文字を描いたり、絵を描いたりします。

板の茶色や木目が気になるときは、白いペンキなどで一層塗るといいかもしれません◎



文字小書きは、

以前の看板をみながらかきましょう。

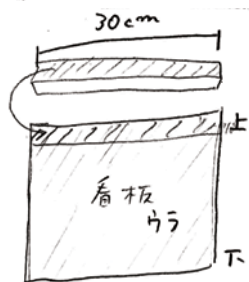
右上には  
QRコードを  
貼るので  
スペースをあけておきます。

\*QRコードは、5cm×5cmほどの大きさです。

## ② 作業 - ③

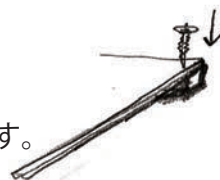
塗料が乾いたら組み立てる

インパクトを使用する時は、  
軍手は巻き込まれる危険があるので  
素手で作業を行いましょう。

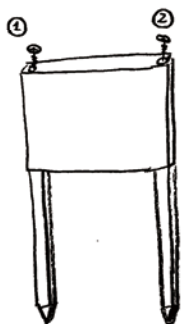
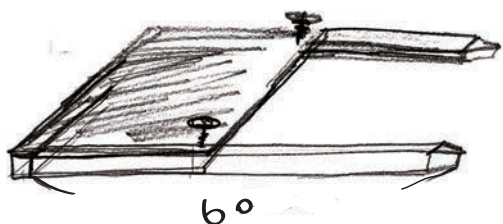


① 30cm 角材の長い方の一面（看板に貼り付ける側）に  
うすくボンドをぬり、看板に張り合わせます。

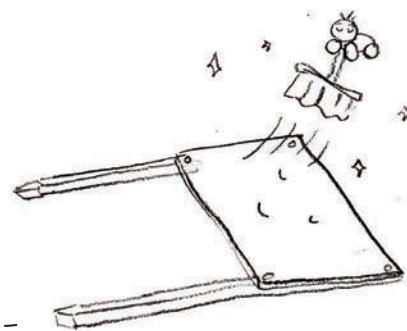
② 看板の表側から貼った角材の両端に  
4.5cm のビス（釘）をインパクト（金属ハンマー）でうちます。



③ 同じように  
60cm の角材の看板に貼り付ける面にもうすくボンドを塗り、  
貼り合わせたら、看板の表側から 4.5cm のビスをうちます。



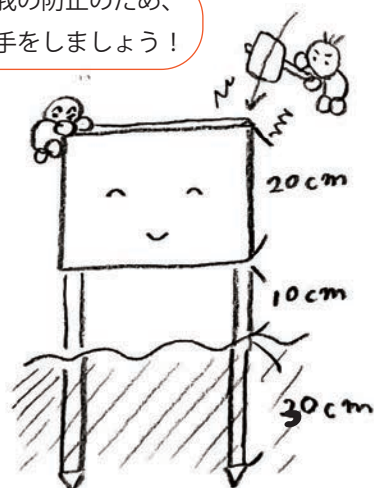
④ 30cm の角材と 60cm の角材を  
つなげるために、  
看板の上側から 6.5cm のビスをうちます。  
1 本打って、グラつく場合は、  
もう 1 本うちましょう。



⑤ 最後に、  
油性ニスで文字を描いた板や  
ビスをうった部分などを重点的に  
塗りましょう。

## ③ 土に立てる

怪我の防止のため、  
軍手をしましょう！



① 土にうちつける時は、  
木槌が最適ですが金属ハンマーなどで行う場合、  
看板にタオルなどのクッションをあてて打つと  
木がへこむことはありません。

土には、  
30cm ほどうちこみましょう。  
うつ前にえんぴつなどで 30cm のところにしるしをつけておくとわかりやすいです。

